

# ワークシート記入 自分と向き合う

長峰中でアントレ  
プレナーシップ講演会

茅野市長峰中学校で21日、

2学年(127人)の「アン

トレプレナーシップ講演会」

があった。夢を育み、なりた

い自分を見つける生き方を探

究するキャリア教育の一環で

文科省のアントレプレナーシ

ップ推進大使派遣事業を利用

用。苦難を乗り越えてきた葬

儀会社「つばさ公益社」(本社

・佐久市)代表取締役の篠原

憲文さん(43)の話聞き、「内

省ワークシート」を書き込み  
自分自身と向き合った。



篠原憲文さんを講師に学  
んだ長峰中2年のアント  
レプレナーシップ講演会

篠原さんは、14歳で父を亡

くし母子家庭に。裕福ではな

く、高校の行き帰りは実家の

ガソリンスタンドを手伝い、

大学は夜間に通いながら外資

系証券会社などに勤め知識も

深めた。大学卒業後葬儀社を

創業もリーマンショックによ

る莫大(もくだい)な赤字、スタンド倒

産、最愛の祖母の死、会社売

却、生まれたばかりの娘の大

病。会社を失って改めて自

分の人生を考え、11年間の経

験を生かした現在の仕事をス

タート。「葬儀で困っている

人に安心を届けよう」と費用

も含めた独自のアイデア葬を

提供していることも話した。

ワークシートは自己理解、

社会への関心、問題発見、行動

することなどの重要性につい

て記入。篠原さんは、14歳で知

っていたら人生が変わったか

もしれないという「巧遅拙速」

の格言も紹介し、「小さくても

自分の会社を持って初めて見

えてくる世界もある。まず飛

び込んで」と語った。

生徒の千島直大さんは「自

分と向き合うことの大切さを

知ることができた。明日から

の生活に生かし、楽しい将来

にしたい」と感想を話した。

(武井葉子)